

# もうすぐ春作業が始まります！

## 春作業はまず計画から

今年も昨年に引き続き大雪となり、雪解けの遅れが心配されます。消雪予想を確認し、しっかりと計画を立てましょう。



### ！ 移植最適期(5月15日～20日)に合わせた播種作業を行いましょう！

・平成24年産種子休眠状態「平年並み～やや深い」と推定されてます、基本技術の励行で健苗育成に努めましょう。

- ①浸種温度・・・10～15℃
- ②積算温度・・・100℃をめどに
- ③催芽は30℃～32℃で行いましょう
- ④催芽終了は1mmほどのハト胸状態を確認して播種作業を開始しましょう

### ！ こまめな管理で健苗を育成しましょう！

・4月下旬以降は日射量が多くなり、高温によるヤケ苗や換気不足による徒長苗が発生しやすいため、遮光率の高い育苗被覆資材（2重被覆も効果的）を用い、こまめな温度管理・水管理に努めましょう。

## 加温出芽における基準温度・処理日数(稚苗)

育苗段階	終了段階の苗の育成	温度管理(℃)		処理日数(日)
		昼間	夜間	
出芽期	出芽長 0.5～1 cm	30	30	2～3
緑化期	第1葉鞘長 3.5 cm	20～25	15～18	2～4
硬化期	苗丈 12 cm	15～20	10以上	12～13

### ！ 作業に合った除草剤を使用しましょう

・初期除草剤の移植前の使用方法が変わっていますので注意しましょう。

**移植前の使用する場合は、散布後必ず7日以上あけて移植を行ってください。**

・代かきから田植えまで7日以上あけることができない場合は

- ①田植え同時
  - ②田植え直後
  - ③田植え後何日
- に使用できる除草剤がありますので、お近くの営農センターにご相談ください。